

今年も神戸山(ごうどやま)の紅葉が色づきました。夏の酷暑の影響かやや葉の色づきが悪い気もしますが、それでも季節の移り変わりを肌で感じることができます。多くの学年が神戸山へ学習に出かけ、また交流で訪れた中洲小学校の子どもたちも、一緒に散策しました。まつぼっくりやどんぐりを拾いながら、たくさんの自然からの恵みを楽しみました。

そんな美しい季節から、いよいよ霜・氷・雪など冬のたよりが届く季節となりました。本校でもインフルエンザが流行し、学級閉鎖等でお子さんの引き取りなどをお願いした学年、学級が多くありました。保護者の皆様におかれましては、ご協力いただきありがとうございました。各ご家庭でも、お子さんの体調管理に引き続きご協力をいただきますようお願いいたします。



10月31日 ～全校の心を一つに きこう・えんそうしょう・つくろう 最高の音楽会～



10月31日(金)に音楽会が行われました。当日は、日頃の音楽学習の成果を十分に発揮し、子どもたちが仲間とともに創り上げてきた音色が体育館中に響き渡りました。低学年の子ども

たちは、自分らしさを発揮してのびのびと発表し、高学年の子どもたちは、自分の役割を果たそうと精一杯練習に取り組み、仲間とともに心を合わせて発表する姿がありました。当日だけでなく、創り上げていく過程での子どもたちの努力や経験が一人一人の力となり財産となったと思います。

保護者の皆様には、様々な面で支えていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。音楽会を通して学んだことを、これからの学校生活にいかしていきたいと思います。

11月はなかよし月間です



11月はなかよし月間です。各学年では、なかよし月間にちなみ、諏訪市社会福祉協議会や長野県福祉大学校にご協力いただきながら、「昔の遊びを通じた交流」「障害のある方に関わるマーク学習」「アイマスク体験」「手話体験や交流」「視覚障害を持つ方との交流(学級閉鎖で延期)」など、様々な体験学習を行ったり予定したりしています。子どもたちは、様々な方との触れ合いや、友達を思いながら行う活動の中で、物事のとらえ方や感性などの多様性に気づいたり、かけがえのない自分を自覚したりすることができました。



また、児童会では「なかよ四賀っ木～」についての提案がありました。「なかよ四賀っ木～」は、友達の良い所を見つけて付箋に書いて模造紙に貼る取り組みです。各学年に配られた模造紙が一つに合わさると「四賀っ木～」の完成です。子どもたちが、友達の良さに気づいたり、友達から認めてもらったりする活動の成果が、形となって完成するのは素晴らしいことです。

これからも子どもたちが自分を大切に思い、お互いを思いやれる四賀小学校になるよう、職員も児童も取り組んでいきたいと考えています。

中洲小学校との交流を楽しみました



3年 英語で自己紹介

1年生は、遠足の目的地を中洲小学校とし、中洲小の1年生との交流をしました。中洲小学校の体育館では、お互いに名刺やプレゼント交換をしたり一緒にじゃんけん列車をして遊んだり、校歌を発表し合ったりしました。はじめはお互いに照れている様子もありましたが、最後にはすっかり打ち解けて、元気に「バイバイ!」と手を振り合いつつも、別れを惜しむ姿がありました。

2年生は読書旬間にちなみ、本の紹介文を書いて、中洲小学校のお友達に送ろうと学習に取り組み始めました。

3年生は、諏訪めぐりの最後に、中洲小学校に立ち寄り、交流をしました。両校とも、音楽会の練習が始まっていたので、互いにリコーダーの発表をし合ったり、外国語学習で習った英語を使いながら、自己紹介をし合いました。

4年生は、中洲小学校の皆さんが四賀小学校まで来てくれて、交流をしました。ちょうど、神戸山が色づき始めた時でしたので、校庭で玉入れをして遊んだ後は、一緒に神戸山に出掛けました。四賀小学校の子どもたちは、照れながらも慣れ親しんでいる神戸山の案内をして、一緒に秋を満喫することができました。

5年生は、オンラインで両校を繋いで、音楽会の発表曲を見合いました。この学年は、毎年のように音楽会の曲を発表し合っています。実際に学校に出かけて、音楽会の発表曲演奏となると大変ですが、気軽に繋がれるところが、オンラインの良さと感じています。

6年生は、算数のオンライン授業を行っています。諏訪南中学校の荻原先生と中洲小と四賀小と同時につないで、算数の授業を行っています。中学校への連携を意識した応用発展的な学習に意欲的に取り組んだり、中洲小学校の児童の発言に「すごいな」と感心したりと、子どもたちにとっていい刺激になっています。

それぞれの学年が、それぞれの学年カラーや学習内容などに合わせ、交流を進めています。学校の枠を外して、お互いの存在を感じ、刺激を受けあう機会となっています。



4年 四賀・中洲合同玉入れ

6年 腕時計組み立て体験



11日(火)に、セイコーエプソン株式会社塩尻営業所の技術技能研修グループの皆さんの指導を受け、6年生が腕時計組み立て体験を行いました。毎年5年生は、精密部品を製造する近隣の工場の見学をしています。工場で作られる細かい部品がなければ機械を動かすことができないことを知り、諏訪地方の精密部品が工業製品を支えていることを学んできています。

今回の腕時計組み立て体験学習では、小さなネジをピンセットでつかむことや精密ドライバーに触れてねじをしめることなどの体験を通して、さらに精密機械について詳しく学ぶことができました。時計盤を色塗りなどして、世界で一つしかない自分だけの腕時計を作ることができました。

5年 稲の脱穀

5年生が10月23日(木)に、JAの方・学校ボランティアの松木さんにお手伝いいただきながら、脱穀を行いました。脱穀ができる機械に加え、昔の道具(千歯扱き・足踏み脱穀機)も使い、昔の人の苦労や機械の効率の良さ・速さを実感することができました。力を合わせ、脱穀したお米は約100キロになりました。先日は、収穫したお米を給食室に届けました。このもち米は、諏訪南中学校にもおすそ分けして、一緒に「四賀小のもち米を使った献立」を楽しみました。

また、収穫祭でうちの方・お世話になった方へもち米を使った料理をふるまったり、藁を使ったしめ縄作りにも挑戦したりしていきたいと考えています。



5年 よい歯の講演会

インフルエンザ流行の影響で、秋の歯科ブラッシング指導は中止となってしまいましたが、秋の歯と口の健康診断と良い歯の講演会が行われました。学校医の先生からは、なぜ虫歯と歯肉炎についてお話いただきました。口の中に長時間食べ物があると虫歯になりやすいことや、歯肉炎はひどくなると、歯を抜かなくてはいけなくなるほど、大変であることを教わりました。講演会で学んだことを、これからの毎日の歯磨きに活かしていきたいと思います。



フォトギャラリー

～みがこう ○知恵

○心 ○体～



1年:神戸山の秋を満喫しました



2年:さつまいもの収穫をしました



3年:長野県福祉大学の先生にマークについて教わりました



4年:木遣り講座をしていただき、地元の伝統音楽に触れました



5年:ハ和会の方に、しめ縄づくりを教わりました



6年:1年生と一緒に、芋ほりを楽しみました



お知らせ・お願い



○スケート教室ボランティア

キョロブラ通信 NO.2 をお配りしました。スケートボランティア等へのご協力をよろしくお願いいたします。なお、ボランティアに登録していただいた皆様にも、健康観察等を確実にしていただき、発熱や風邪症状等がある場合には、無理せず休養していただきますようお願いいたします。(その際は、学校までご連絡ください。) 悪天候以外にも感染症拡大による学級閉鎖等で中止となる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。



○チャレンジ・ショップ

諏訪市では「相手意識に立つものづくり科」という独自の教科を行っております。そのものづくり科で作成した製品の販売活動を市内の小中学生が参加して、例年「チャレンジショップ」という形で開催しております。本校からは、6年1組とおおぞら教室が参加をします。保護者の皆様、地域の皆様、よろしければ足を運んでいただき、子どもたちの作品販売にご協力をお願いします。

日 時:12月20日(土) 10:00~12:00

場 所:城南小学校 体育館

その他:室内用上履きをお持ちください。袋に外靴を入れて持ち歩いていただきます。

駐車場は、市役所駐車場をご利用ください。

四賀小学校相談窓口 学級担任・特別支援教育コーディネーター・養護教諭・教頭

心配なこと、不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。TEL 52-1136 FAX 52-1138

12月のスクールカウンセラー訪問予定日 12月10日(水) 8:40~12:15